



高橋 正光
2020-2021年度 R I 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 1

会長 / President 高橋 正光
幹事 / Secretary 齋藤 達雄
クラブ会報委員長 /
Committee Man of Weekly Report 大久保 伊津美
第 1 週 2020年7月3日(金)
例 会 毎週金曜日
点 鐘 12時30分
例 会 場 オワイトイン高崎
事務所 / Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
TEL 027-328-3371
FAX 027-328-3372
http://www.takasakisymphony-rc.org
E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 / Office worker 浅見 洋子
本日のプログラム 会長の日 高橋 正光会長
会長の年度目標・役員挨拶
君が代、奉仕の理想
ロータリーソング

第1086回例会報告
第3週 6月19日(金) 会場: ホワイトイン高崎
お弁当持ち帰り対応
クラブ協議会 三役・五大奉仕委員長退任挨拶

御来訪者 / Visitor 0名

出 席 報 告	
会 員 数	48名
出席計算人数	45名
本日出席者	36名
本日出席率	80.00%
先々週出席率	73.33%

幹事報告 / Secretary Report
・神戸東灘RC創立50周年記念式典延期のご案内
・神戸東灘RC週報
・Rotary Club of Wahiawa-Waialua週報
・ハイライトよねやま
会長エレクト・次年度幹事研修セミナー修了証授与
・会長エレクト 高橋 正光君
・次年度幹事 齋藤 達雄君



神戸東灘RC締結合意書(継続)の報告
6月3日に神戸東灘RCよりご来訪いただき締結合意書にサインをする予定でしたが、新型コロナウイルスによる自粛等もありましたので、郵送にて

相互にサインをさせていただき締結の継続をお約束いたしましたのでご報告申し上げます。



委員会報告 / Committee Report
ニコニコBOX / Donator Niconico Box
飯島 芳臣君 (1年間ありがとうございました)(5月誕生日)
高橋 正光君 ()
高橋 栄江君 ()
横山 正男君 ()
阿久澤 公君 ()
島崎 真澄君 ()
泉 省平君 ()
折田 慶太君 ()
堀口 芳明君 (明日、開幕です)
君島 准逸君 (飯島会長、1年間お疲れ様でした)
三浦 敦朗君 (入会23年、初めてパッチを忘れました。すみません)
金子 秀隆君 (会長お帰りなさい。1年間ありがとうございました)
小林 彌君 (ひさしぶり、又、宜しくお願いします)
西野 宏君 (コロナにもかかわらず生きて居ります)

ロータリー財団BOX / Donator Rotary Foundation
白石 隆夫君 柴崎 晟君 林 章君
米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship
高橋 正光君 吉本 賢二君 柴崎 晟君
三浦 敦朗君 井汲 憲治君

次回例会予告
7月10日(金) 会場: ホワイトイン高崎
クラブ協議会 各委員長挨拶

クラブ会長の計画および目標
高崎シンフォニーロータリークラブ
2020-2021年度 会長 高橋 正光

2020-2021年度 RIホルガー・クナーク会長 テーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
Rotary Opens Opportunities



2020-2021年度 R I 第2840地区
山田邦子ガバナー 地区スローガン
「奉仕の喜び」

Happiness to Serve

～より多く奉仕して、より多くの喜びを分かち合しましょう～

高崎シンフォニーロータリークラブは、これらを受けて本年度のクラブスローガンと活動方針、目標を以下のように設定しました。

スローガン 「奉仕の理念を实践しよう」

～仲間のために、社会のために、そして世界のために～

ロータリーの基本理念においてはロータリーの目的として、「奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」とされています。

具体的には

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること

これらはまさに、R I 会長のテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」に繋がるものであり、この奨励と実践により、山田ガバナーの地区スローガンである「奉仕の喜び」を会員一人ひとりが享受できるのではないのでしょうか。

活動方針と目標

高崎シンフォニーロータリークラブは、昨年度「3カ年戦略計画」を策定しました。(次項参照)

今年度はこれらの中から次の項目を選び、具体的な活動方針と目標としたいと考えます。

1. 地域貢献・社会貢献を目指すと共に公共イメージアップをはかる。
～積極的に広報活動(新聞・地域新聞等掲載)を行う。
2. 多角的に参加者を広げる
～会員一人ひとりが、入会候補者に一年度1名以上に勧誘の声掛けを行う。
3. 会員は、クラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うことになり、また、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになる。
～会員の役に立つ専門的な卓話の機会を多くし、職業の代表者の責務を負う。
4. 「奉仕の理念」とその高潔性の理解を促す。
～入会3年未満会員の継続的な研修と、入会10年未満会員の中堅研修を行う。

数値目標

1. 新規会員数3名(純増2名以上)
2. 退会防止5%以下

3. ロータリー財団
 - ・年次寄付 1人 150ドル以上
 - ・ポリオ寄付 1人 30ドル以上
4. 米山奨学金寄付 1人 16,000円以上

*寄付について

私たちは奉仕の理念の実践の場として、素晴らしい寄付の機会を持っています。それは、ロータリー財団と米山奨学金です。

世の中には、様々な寄付の場がありますが、その用途がどのようになっているのかを知るのは困難なケースが少なくありません。

それに対して、ロータリー財団と米山奨学金は、二重三重の監査体制が構築され、またその内容は常に開示されています。

人間は、生まれる場所と時代を選ぶことはできません。生まれながらにして、生きるのに困難な状況に直面している子どもたちが、世界には数えきれないほどいます。

かりに食料と安全な水が手に入ったとしても、疾病の予防、治療がままならない、またその子どもたちのより良い将来のための教育の場が与えられないというケースは、世の中に数限りなく存在するのです。

例えばその子どもたちに、私たちからわずかな金額でも届けられたら、その結果として世界中のロータリーから届けられる寄付は、莫大な金額になります。

月に一度でも結構ですから、どちらかの寄付箱にあなたの気持ちを入れてください。間違いなく、そうした子どもたちへの大きな助けとなるはずですから。

三役・五大奉仕委員長退任挨拶



飯島芳臣会長



金子秀隆副会長



折田慶太副会長



阿久澤公幹事



三浦敦朗 S A A



君島准逸会員組織委員長



八木建司朗
奉仕プロジェクト委員長



橋爪 健
公共イメージ委員長



島崎真澄クラブ
管理運営委員長



横山正男
財団委員長